



よく生きよ

大仙市立大曲中学校
2年学年通信 No. 28
令和2年10月15日

合唱コンクールを通して... その1

今回の合唱コンクールを通して、学んだことはたくさんあったと思います。
振り返りの中からいくつか紹介します。

5組 陽輝 さん

今回の合唱コンクールでは曲中祭の演し物が合唱しかないという中で、自分たちの合唱をよいものにしようとして一生懸命練習しました。最初はみんなうまくまとまらなかったりするところもありましたが、パートリーダーを中心に、みんなで協力して、心をつにして、きれいな合唱にしようとして、毎日、全力を出し切って練習してきたと思います。曲中祭本番では、多くのお客さんの前で、トップバッターでしたが、しっかりと今まで練習してきた成果を出し切り、お客さんを感動させるような合唱、歌詞を伝える合唱を205のクラスみんなでできたと思います。

8組 爽楽さん

私は伴奏で、本番に向けてたくさん練習してきました。みんなと合わせるとき、ちゃんと弾けるか心配だったけれども、初めて合わせた日から、本番に近づいてくるにつれて、とてもいい合唱になってきてよかったです。本番は今まで練習してきたことが、全部出せて、クラス全員でいい結果を出すことができました。とてもうれしいです。本番が一番いい、最高の合唱だったんじゃないかなと思いました。聞いてくださる人たちに気持ちが伝わり、笑顔になってくれたと思いました。本当にうれしいです。クラス全員で、一生懸命がんばり、最高の合唱で、最高の思い出ができて、本当によかったです。

2組 葉月 さん

練習から頑張ってきて、最初はなかなかまとまることができず、やる気のない練習でした。でも、練習をやるにつれて、みんなが合唱をしようと思うようになりました。本番で頑張ったことはピアノ、指揮者に合わせることに、男子のパートと合わせることに、ソプラノと合わせるようにすることです。本番では緊張したせいか、少し、速くなってしまいました。しかし、指揮者が「速い」という合図をだしたおかげで、リズムを合わせることができたと思います。あまり、声量は出なかったけれど、ハーモニーはどのクラスよりもきれいだったと思いました。来年は合唱コンクールの曲と大いなる秋田を歌わなければいけないので、二つとも両立し、よりよいものにしたいと思います。

3組 乃愛 さん

合唱コンクールの合唱練習が始まって、指揮者を誰にするのかをもめていたこともあって、「このクラス、大丈夫かな」なんて思っていたけれど、最終的にみんなで、心をつにできたのでよかったです。かけ声も本番当日に決め、思い通りに笑ってくれる人もいて、よかったです。先生方たちは、「このクラス大丈夫だが？」なんて心配してくれていたそうです。でも、成功したのでよかったです。本番では、みんな緊張したけれど、いつもの歌声で全力を出せました。結果はどうでも素晴らしい203の合唱ができたのでよかったです。コロナで曲中祭と合唱コンクールが一緒だったけれど、これも味となるいい思い出です。

裏面には合唱コンクール前のクラスの様子、合唱コンクールの表情を紹介しています